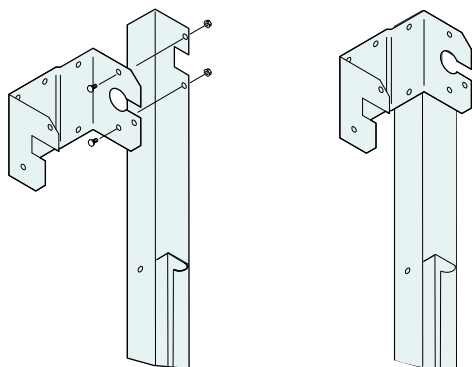


垂直レールをつける前の準備

◆ ブラケットの組み立て

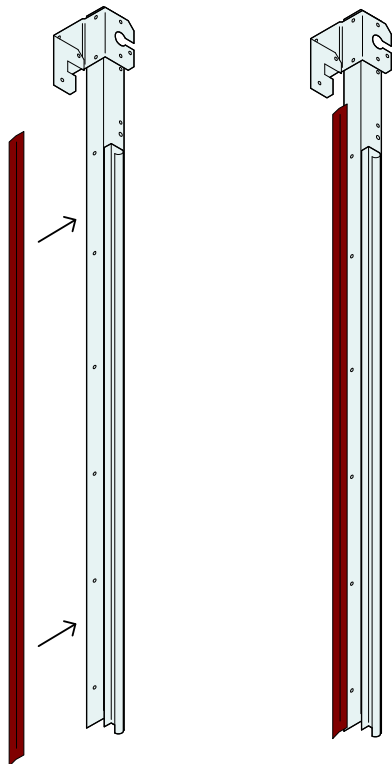


ジャムアングルにブラケット(上下左右有り)を隙間無く上から重ねてM6ボルトと10mmフランジナットで固定します。



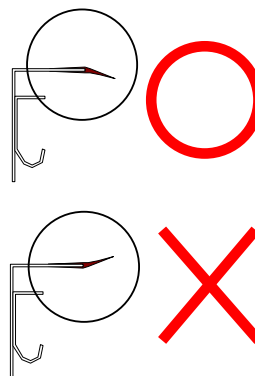
M6 10mmフランジナット

◆ アルマシールの取り付け

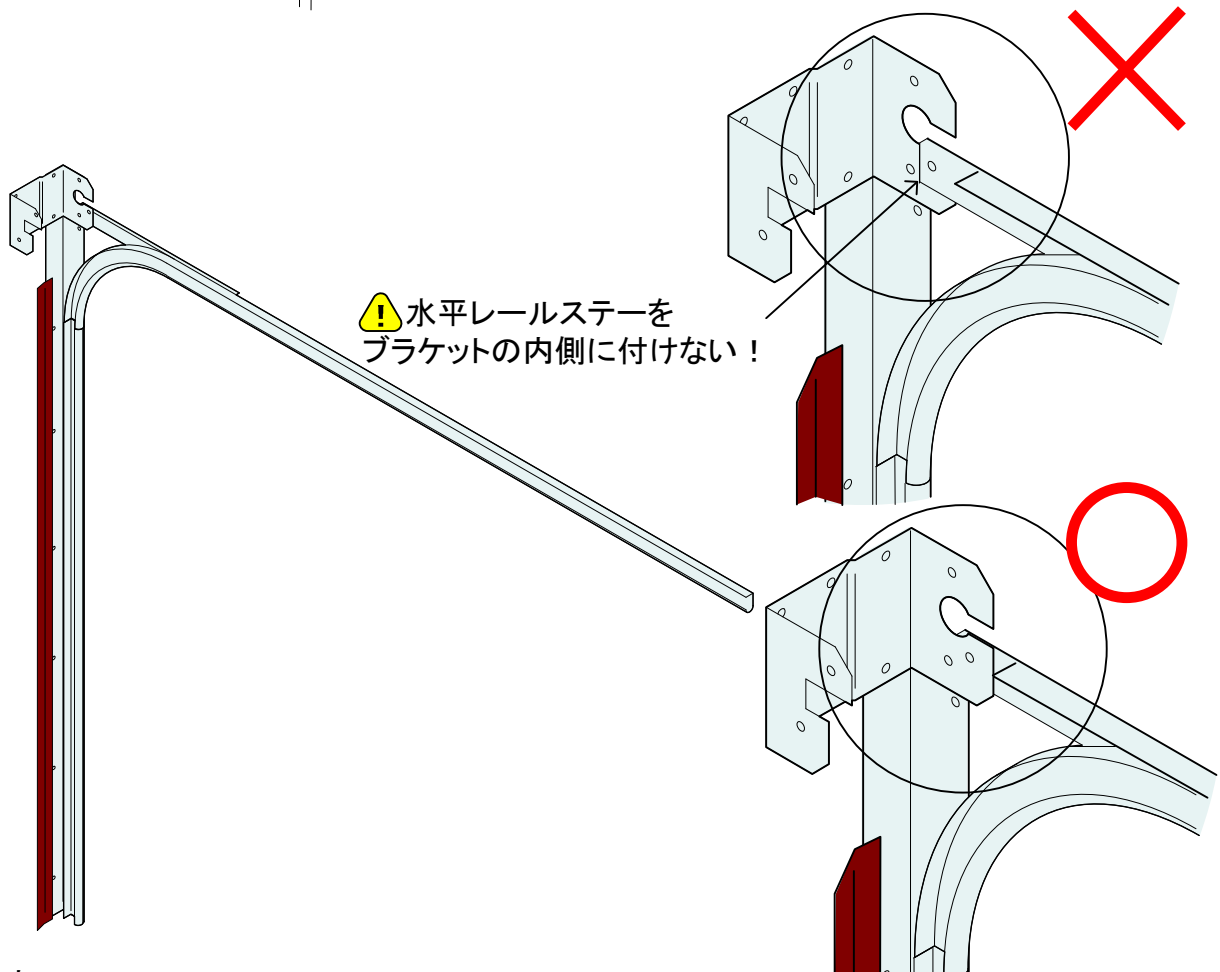
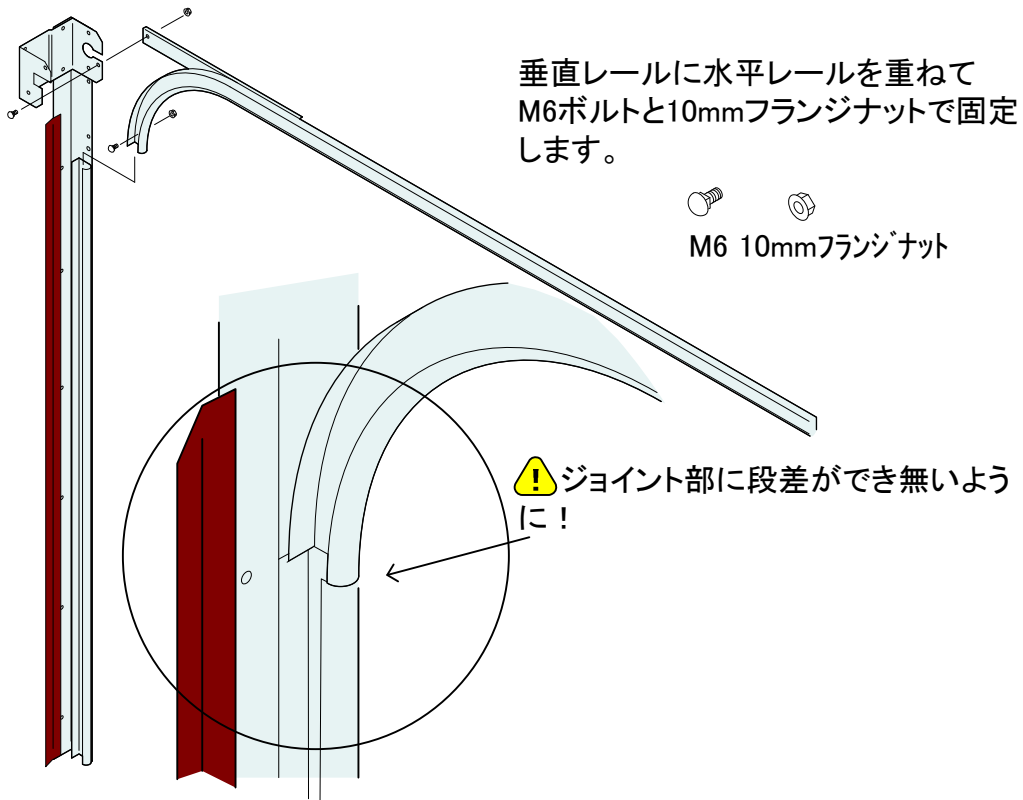


アルマシールの溝(隙間)にジャムアングルを挟み込みます。

⚠ ゴムの向きを間違えないように注意すること



水平レールのつけ方

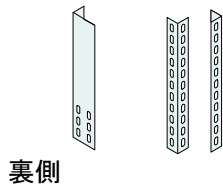


☆ポイント

サイドルームが無く、レールと壁の隙間に手が入らない場合は、ジャムアングルを躯体に固定する前に水平レールとジャムアングルを組み立てておくといでしょう。

水平レールを吊る①

◆ 吊りアングルの組み立て



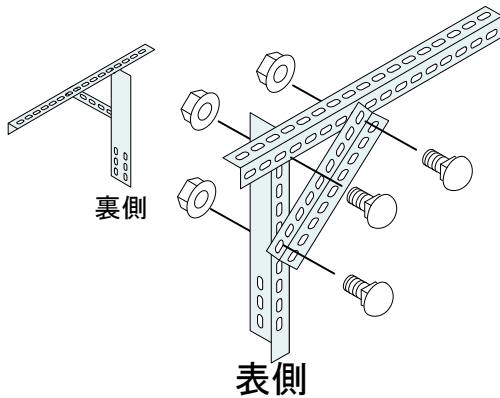
裏側

・図のように3本のアングルをM8ボルトを使用して組み立てます。
左右対称に作ってください。



M6

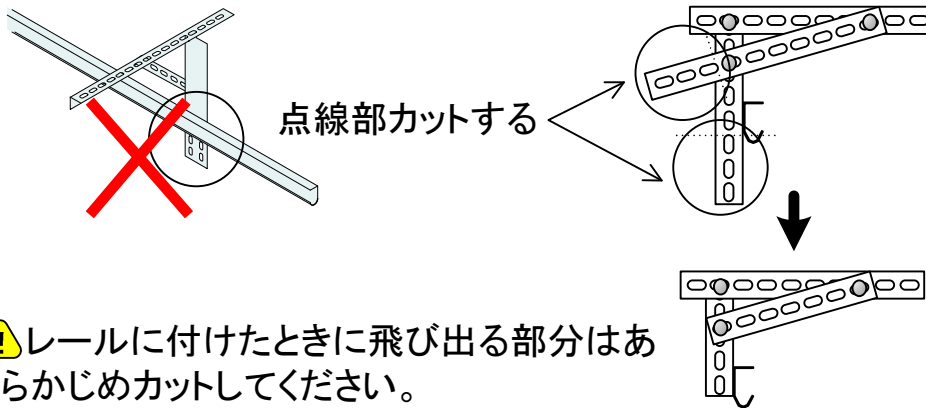
10mmフランジナット



裏側

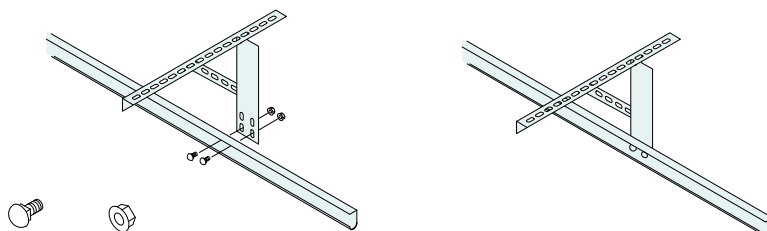
表側

←図は右(内観)レール用吊アングルです



点線部カットする

⚠ レールに付けたときに飛び出る部分はあらかじめカットしてください。



M6 10mmフランジナット

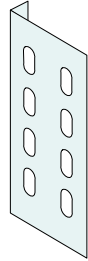
2穴アングルと水平レールを穴を重ねて、
M6ボルトと10mmフランジナットで固定します。

☆ポイント

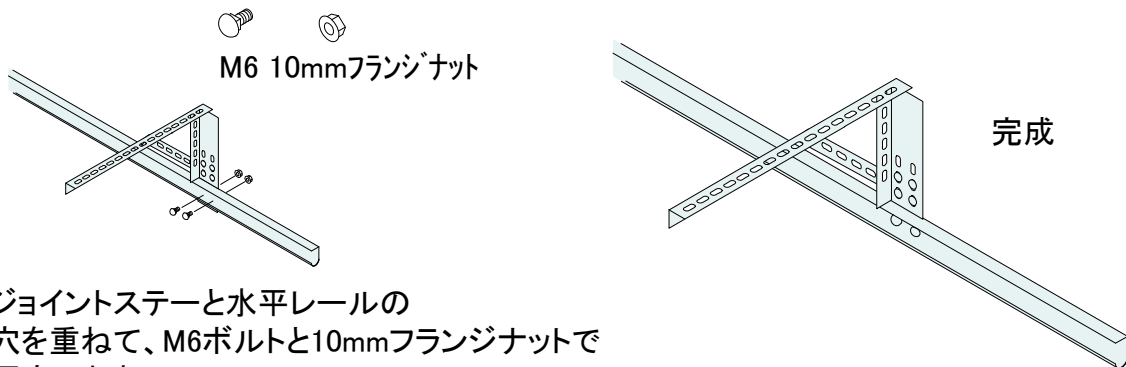
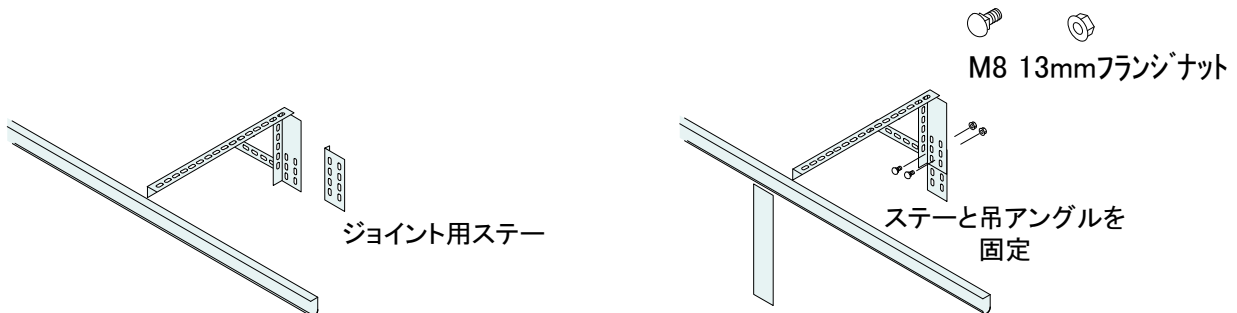
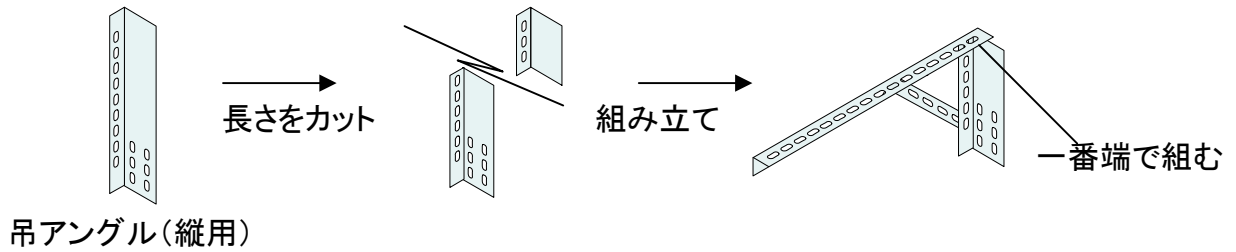
- ・レールやアングルに、失敗した無意味な穴が開いていたり、カットした切り口が汚いとクレームの原因となります。目に見える部分は極力キレイに仕上げてください。
- ・筋交いやアングルの組み方を左右対称になるように気を付けてください。

水平レールを吊る②

◆ サイドルームが小さい場所での吊りアングルの組み立て



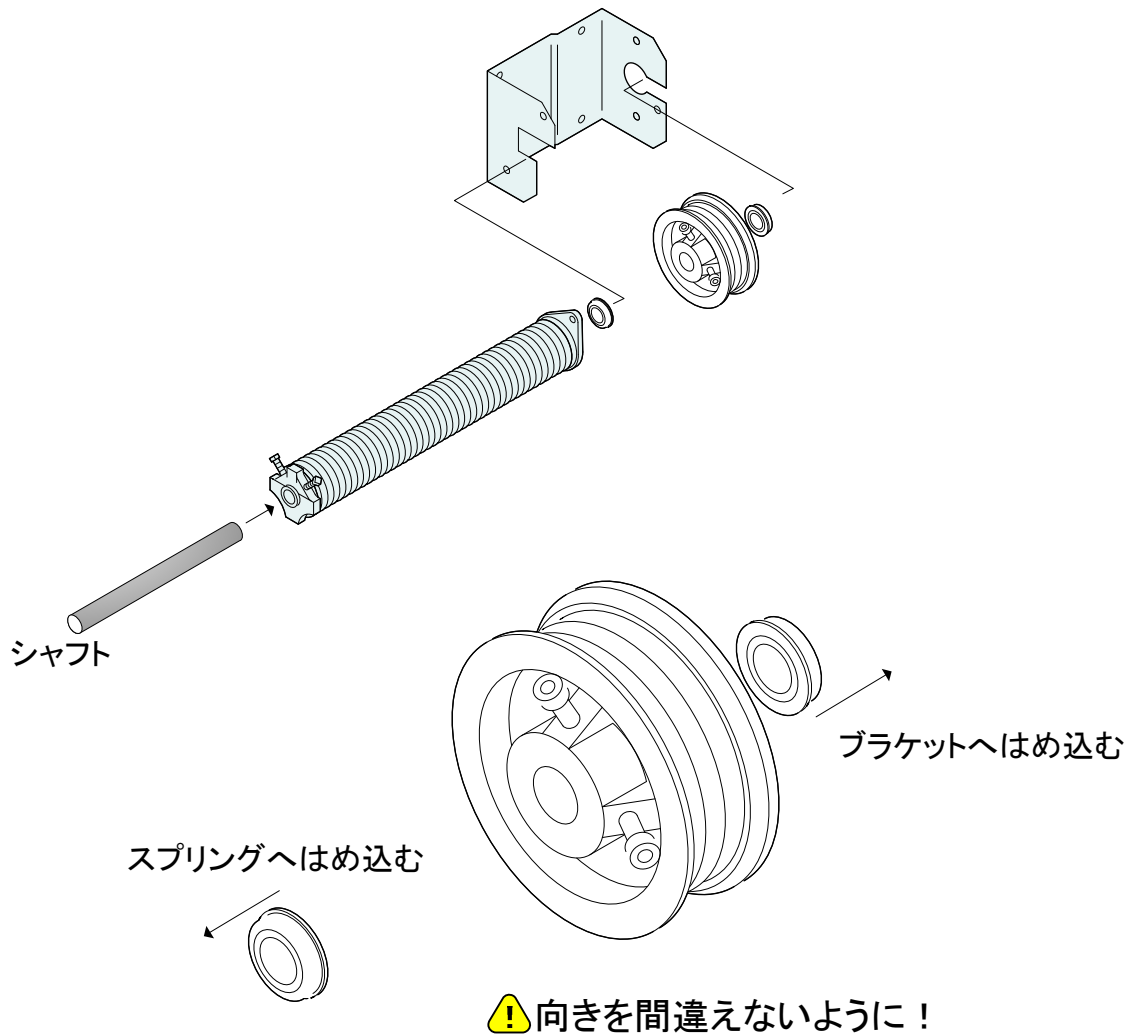
※ジョイント用ステーを使用します



ジョイントステーと水平レールの穴を重ねて、M6ボルトと10mmフランジナットで固定します。

シャフトの組み込み

◆ スプリング・ベアリング・ドラムのセット



ドラムの左右見分け方

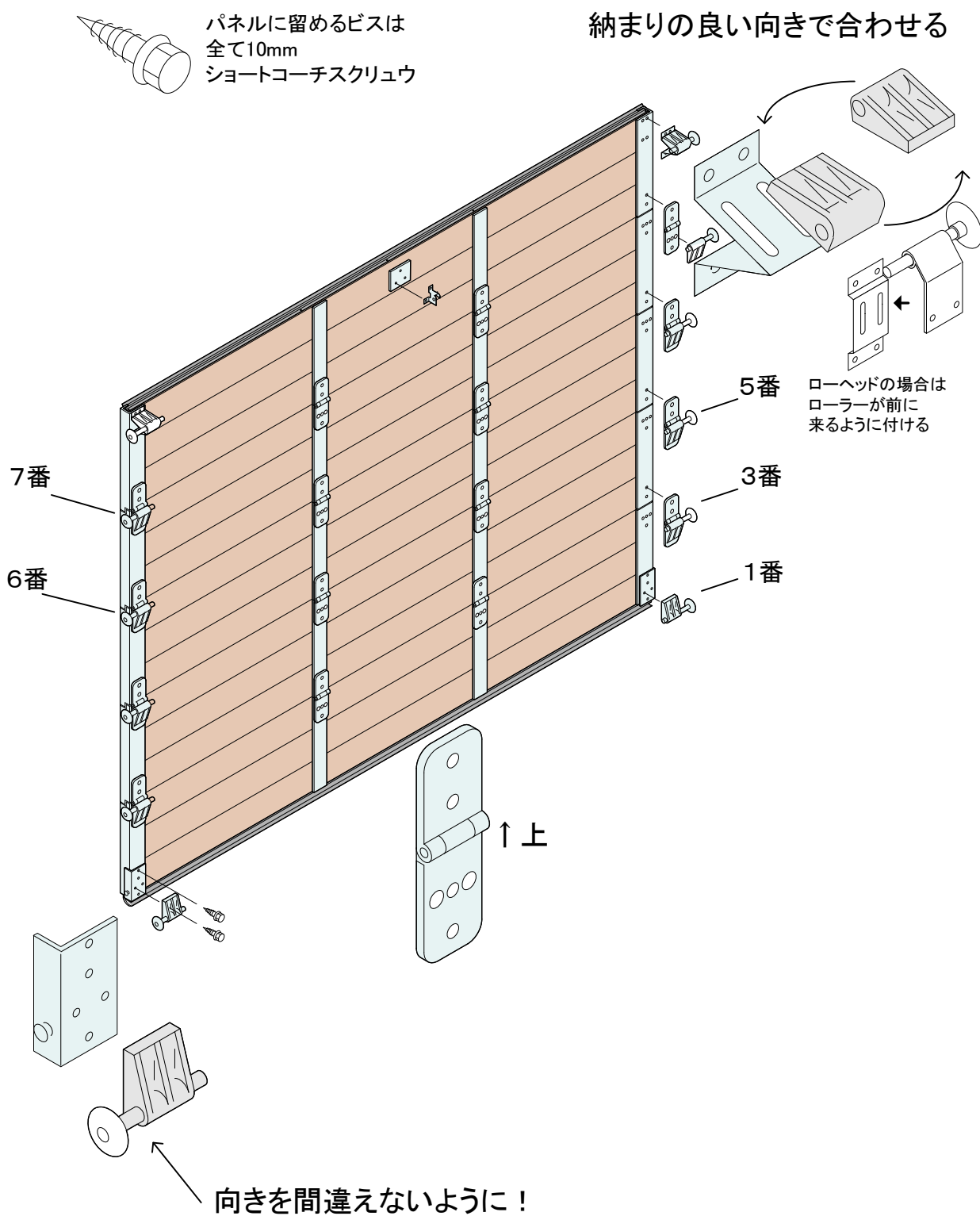
- 左ドラム・・・LHもしくはLEFTの文字あり
- 右ドラム・・・RHもしくはRIGHTの文字あり

☆ポイント

スプリングは二本ある場合と左、又は右に一本しかない場合があります。

パネルの組み方

◆ パネルとヒンジの順番



☆ポイント

ヒンジの向きや順番を間違えると動作不良や破損の原因となります。
小傷や手形等も後のクレーム対象となりますので気をつけて下さい。